

大草谷津田いきものの里

春の香りを楽しもう！

岡田 敬子（千葉市）

日 時：2019年4月21日（日）10：30～12：00 天候：晴れ

参加者：28名（大人17名、子ども11名）

指導員：木下順次、佐野由輝、芳我めぐみ、萩 将勝、山岸文子

担当指導員：松本美千代・岡田敬子、

平成最後、今年度1回目の観察会、早めの下見だったので景色が変わり、ヤマザクラに代わりウワミズザクラが満開だった。観察会の注意事項のあと、広場の匂いのするものを探してもらった。キュウリグサは名前の通りキュリの匂いと皆さん納得、ヨモギは少し苦い匂いとか、お餅に入っているものですかとお母さんから質問があった。カラスノエンドウ・スズメノエンドウが咲いていたので違いを見てもらうとか豆の試食と思っていたが、子ども達は虫探しに専念していたので、始まる前に見つけておいたアカボシゴマダラの幼虫がいるエノキの所で、幼虫探しをした。葉っぱと同じと驚いていた。

（広場で見られた虫：ベニシジミ・ヒナバタ・モリチャバネゴキブリ・クビキリギス）

杉林でミツバ・ニワトコ・クサギの葉の匂いを嗅いでもらう。大人も子どもも、どの葉も嫌な匂いだとは言わなかった。良い香りだと言った子どももいた。

竹林で日本の伝統色のカードを使って竹の色合わせをした。老竹色、若竹色、青竹色など竹のつく色の名前があることがわかった。

ベンチに持ってきたノビル・サンショウ・ゴマギ・ニッケイなどを置き、それぞれの匂いを嗅いでもらう。サクラの葉は「お餅の匂い」という子どもがいた。

今日の香りのもを使って、板前さん・パティシエ・バーテンダーになったつもりで、お惣菜・お菓子・飲み物など絵に書いてもらった。大人はお餅・卵とじ・かき揚げ・酒のつまみに味噌つけてと、子ども達は捕まえた虫たちの絵を楽しそうに描いていた。

最後に大草谷津田の今しかない緑の（萌黄色・鶉色・抹茶色・青竹色・苔色）景色を眺めてもらい、感想を聞き、入り口広場にYさん手作りの草餅のごちそうが待っていると伝え、観察会を終えた。



酒のつまみに、味噌で！



谷津田は色々な緑！！